

国産メンマ開発から 竹林資源の利活用へ

株式会社 フルーツバスケット

メンマ開発を皮切りに、荒廃が進む
地域の竹林を資源としてを生かす取り組みへ



国産メンマ(商品名:「伊豆の里山めんま」)の開発

2021年6月、静岡県函南(かなみ)町丹那で、地元JAと企業・自治会が連携し、「丹那地区竹林資源活用協議会」を結成。資源活用の第1弾として国産メンマの商品化に挑みました。JA組合員やシルバー人材センター等の協力で若竹を収穫、水煮加工業者一佃煮業者をつなぐ形で、2022年秋、『伊豆の里山めんま』が完成。メンマに続く竹林資源の活用を模索中です。



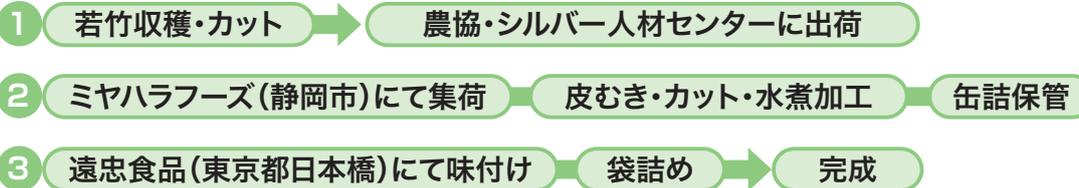
地元小学校の給食にも使われ、子供たちが竹林の問題を学ぶ機会にもなっています。



食べ方 ...ラーメンのトッピングとして、また中華料理他、様々な料理に。

販売先 ...地元のJA直売所や道の駅の他、一部スーパー、生協で販売。現在販路拡大中。

製造方法



株式会社 フルーツバスケット

〒419-0105 静岡県田方郡函南町丹那349-1

055-974-2236 (フジサンロク) info@fruitbasket.jp http://www.fruitbasket.jp/